

Q&A

尾側主膵管拡張をともなう膵腫瘤性病変

【問 題】

症例：67歳男性。

現病歴：膵酵素上昇を指摘され、他院で撮影した造影CTにて膵腫瘤を2カ所指摘され、当科を紹介受診した。腹痛などの症状はなかったが、当院で撮影したMRI, MRCPでは尾側の主膵管拡張の出現を認めたために、精査加療目的で入院した。

現症：体温36.8℃、血圧136/88mmHg、脈拍72/分、眼球結膜黄疸なし、眼瞼結膜貧血なし、腫大リンパ節触知せず、呼吸音：ラ音聴取せず、心雑音なし、腹部：平坦・軟、圧痛なし、腫瘤触知せず。

既往歴：副鼻腔炎の手術後。

生活歴：飲酒：機会飲酒、喫煙：10本/日を10年間。30歳で禁煙。

家族歴：特記事項なし。

血液検査所見：WBC 5800/ μ L, RBC 509万/ μ L, Hb 15.9g/dL, Plt 24.9万/ μ L, PT% 97.0, APTT 44.1, AST 23IU/L, ALT 36IU/L, LDH 159IU/L, T-Bil 0.96mg/dL, D-Bil 0.13mg/dL, TP 6.0g/dL, Alb 4.0g/dL, BUN 13mg/dL, Cre 0.77mg/dL, UA 5.1mg/dL, Glu 96mg/dL, Na 136mEq/L, Cl 97mEq/L, K 4.3mEq/L, Ca 9.0mg/dL, CRP 0.07mg/dL, Amy 572U/L H, P-Amy 598U/L H, トリプシン 4270ng/mL H, Lip 1034U/L H, エラスターゼ 1738ng/dL H, IgG 2006mg/dL H, IgG4 965mg/dL H, HbA1c 6.0%, CEA 0.9ng/mL, CA19-9 7U/mL, Span1 6.2U/mL。

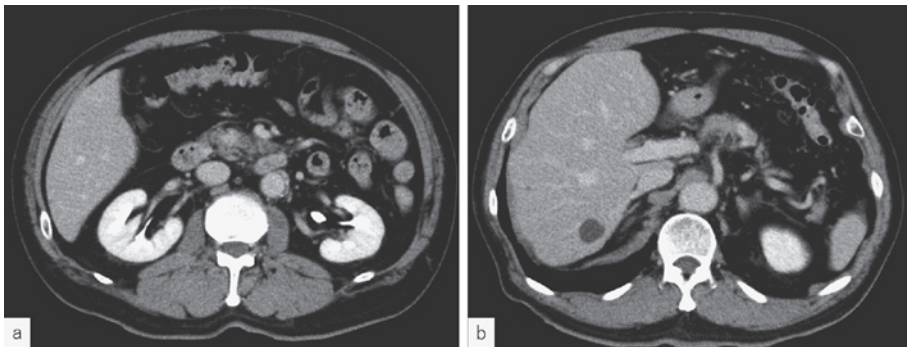


Figure 1. 造影CT所見（いずれも後期相）。

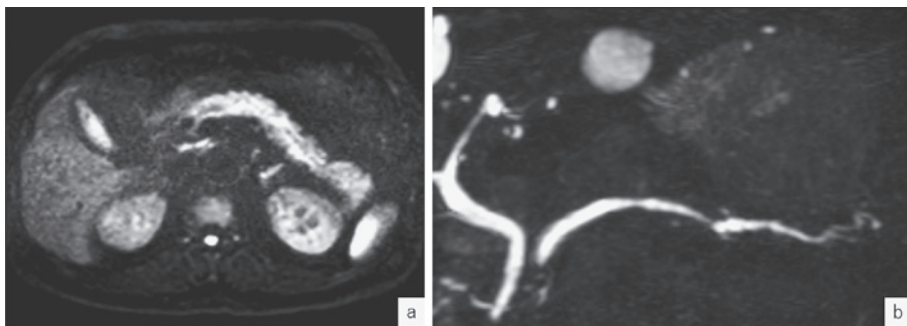


Figure 2. (a) MRI所見：拡散強調画像。(b) MRCP所見。

2021年6月

前医で撮影の造影 CT (Figure 1), 当院で撮影した MRI/MRCP (Figure 2) を提示する.

最も考えられる診断名を1つ選べ.

1. 膵癌
2. 膵腺房細胞癌
3. 腫瘍形成性膵炎
4. 自己免疫性膵炎
5. 腎細胞癌の膵転移